

# 「RWC2019日本大会のレガシーを活用したスポーツ振興・地域活性化」

【幹事】 福岡県 人づくり・県民生活部 スポーツ局 スポーツ企画課

【参加団体】 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、山口県

九州経済連合会、九州商工会議所連合会、九州経済同友会、九州経営者協会、九州観光推進機構

## 目的

RWC2019日本大会を誘致し、成功させた経験やノウハウを活かし、国際イベントの開催や誘致、インバウンドの呼び込み、新たなスポーツ市場の創出等に九州・山口一体となって取り組み、スポーツ振興及び地域活性化を図る。

## 取組内容・成果

### 取組方針

- ・RWC2019成功のノウハウを活かした国際イベントの誘致
- ・インバウンド拡大戦略の構築
- ・新たなスポーツ市場の創出に向けた取組み
- ・ラグビー人口の拡大とアジアとの交流によるラグビーアイランド九州の実現

### 期待される効果

- ・国際イベント開催を通じた地域の活性化
- ・九州・山口周遊観光客の増加
- ・スポーツ産業の活性化
- ・RWC2019で増加したラグビーファンの定着、アジアラグビーフェスタの継続開催、規模拡大

### 九州が一体となった取組み

#### (1) RWC2019成功のノウハウを活かした国際イベントの誘致・開催W.G.(事務局:九経連)

九州・山口が一体となった国際スポーツ大会や合宿、国際会議等の戦略的な誘致、及び協働(ソフト)と共用(ハード)による大規模大会の誘致・開催を目指す。

- 「ツール・ド・九州」の開催に向けて、九州地域戦略会議のしごとづくりPT内「インバウンド対策の推進」及び本W.G.にて議論。そのうち「ツール・ド・九州2023」に関しては、UCIからクラス1認定を取得し、**2023年10月に福岡県・熊本県・大分県を舞台に初開催を迎えた。大会実施に向けた準備を推進。**
- 第2回大会となる「ツール・ド・九州2024」に向け、実行委員会を設立。**大会実施に向けた準備を推進。**

#### (2) 欧米・大洋州等のインバウンド対策推進W.G.(事務局:福岡県観光政策課)

九州・山口が一体となり、「観光地『KYUSHU』のブランド力向上」「観光人材育成」「外国人観光客の来訪促進」「外国人観光客の滞在・消費促進」に向けた取組みを行う。

- 九州地域戦略会議のしごとづくりPT内「インバウンド対策の推進」にて議論。

#### (3) 新たなスポーツ市場の創出に向けた取組みW.G.(事務局:福岡県スポーツ企画課)

スポーツと他分野(健康、食、旅行等)の融合による市場の活性化を図るとともに、VR観戦やスポーツセンシングなどIoTを活用した新たな市場の創出等を目指す。

- スポーツツーリズムの推進(各県に存在するスポーツツーリズム資源の抽出と市場活性化策の検討)
- IoTなどを活用した新たなスポーツ関連製品・サービスや開発動向に関する情報共有

#### (4) ラグビー人口の拡大とアジアとの交流によるラグビーアイランド九州の実現W.G.(事務局:福岡県スポーツ企画課)

ラグビー人口を拡大するとともに、九州・山口地域とアジア・**オセアニア**の青少年が参加するラグビー交流大会を開催する。また、トップレベルのラグビー大会の誘致・開催を目指す。

- 中学生へのタグラグビーの普及促進(中学校授業におけるタグラグビーの実施を支援)
- アジア・**オセアニア**ラグビー交流大会の拡大(フルコンタクトラグビーに加えてタグラグビー交流大会を実施)
- 日本代表戦等による国際試合の誘致

## 今後の課題・取組み

九州・山口が一体となり、国際イベントの誘致や新たなスポーツ市場の創出、インバウンド拡大等に取り組むため、官民での情報共有や連携といった効果的な手法を検討する。